

新潟工科専門学校 シラバス (授業計画書)

科目名	設計製図 B				
担当教員	三留 正		実務授業の有無	○	
対象学科	建築大工科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	48時間
授業概要、目的、授業の進め方	建築空間の表現・伝達に必須である製図の知識・技術を、学ぶことで図面の必要性を理解し、簡単な図面が描け、記号など、作成する実習 1. 座学→演習→添削と解説を繰り返して行い習得レベル差ごとの指導も適宜行う。 2. 製図の基礎を中心に見方、描き方を解説・演習する。 3. 条件に則した設備設計の進め方の基本を理解する。 4. 最終的には、コンクリート構造の製図、RC造図課題を作成し、評価、解説を行う				
学習目標 (到達目標)	鉄筋コンクリート構造の各種図面の作図方法と構造の仕組みを習得				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	①初学者の建築講座 建築製図 (市ヶ谷出版)				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	鉄筋コンクリート構造の製図 ①. 平面図の作図方法 ②. 断面図の作図方法 ③. 立面図の作図方法 ④. 矩計図の作図方法		方法：教科書、プリント等の教材を使って説明し、作図の演習。 ①～④の項目を理解し適正に作成、作図できる。 準備学習：教科書、プリントに示されている練習課題の予習と練習		
2	特殊建築物 (RC造) の設計 ①. エスキース ②. 平面図作成 ③. 断面図作成 ④. 立面図作成		方法：教科書、プリント等の教材を使って説明し、作図の演習。 ①～④の項目を理解し適正に作成、作図できる。 準備学習：教科書、プリントに示されている練習課題の予習と練習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題の期限内提出を基本とし、その上で図面の仕上がり具合や授業態度を含めた平常点で評価します。 課題提出80% 平常点20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			設計製図Aの授業で学んだ技術を生かして、鉄筋コンクリート造の作図を学習する。図面を読むこと、描くことで鉄筋コンクリート造住宅の仕組みを学習する。基本を固め、演習を繰り返すことでつけてスキルを上げていく。個人作業が主体で、レベル差が出やすいので、適宜個人指導も行う。 建築士の製図試験も手描きです。		
実務経験教員の経歴	設計業務、施工管理業務に21年携わる				